

株主の皆様へ

証券コード：6462

第90期 第2四半期報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

 株式会社 **リケン**



株主の皆様へ

代表取締役社長

岡野 教忠



株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成25年9月30日をもって第90期第2四半期を終了いたしましたので、ここに第2四半期報告書をお届けして、事業の概況についてご報告申し上げます。何卒ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済は財政問題がくすぶり続けるものの引き続き堅調を維持し、欧州経済もようやく最悪期を脱しつつあるように見られます。中国をはじめとする新興国経済は一時の高成長から大幅に減速したものの、総じて成長は維持しています。

我が国経済は、経済対策や金融緩和策により円安・株高が進み、景気は回復基調にあります。

当社グループ事業と関連の深い自動車産業におきましては、エコカー補助金制度終了による反動等から、四輪車国内生産台数は昨年後半より前年同月比減少が続いていましたが、9月単月では約1年ぶりによりやく前年同月比増加に転じました。

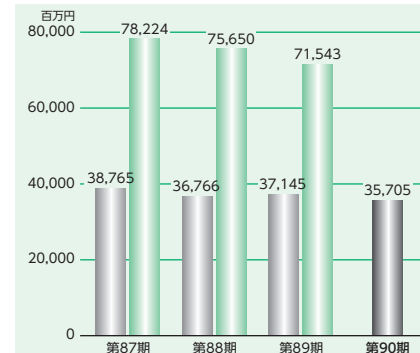
このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間における当社グループ売上高は35,705百万円（前年同四半期比3.9%減）となりました。利益面では、海外生産拠点での生産能力拡大投資による償却費の負担先行等があったものの、原価低減活動推進等の合理化効果により、営業利益は2,854百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。また経常利益は海外の持分法投資利益対象会社の好調もあり3,684百万円（前年同四半期比13.2%増）となり、四半期純利益も2,506百万円（前年同四半期比25.1%増）となりました。

中間配当につきましては、最近の業績および配当性向などを総合的に勘案し、1株当たり6円を平成25年12月9日よりお支払いさせていただきます。

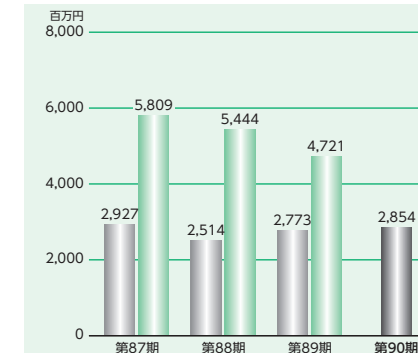
株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

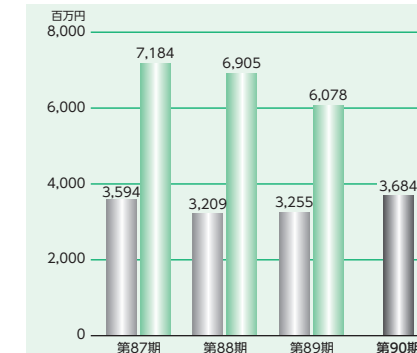
売上高



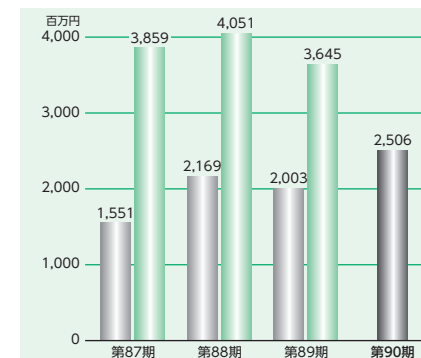
営業利益



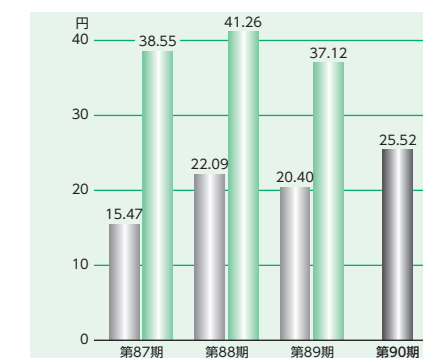
経常利益



四半期（当期）純利益



1株当たり四半期（当期）純利益

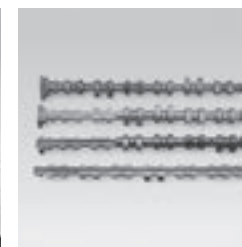


■ 中間 ■ 通期

主な製品群



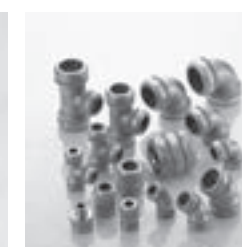
ピストンリング



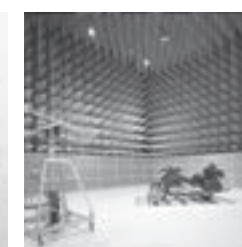
カムシャフト



自動車用ナックル



ステンレス管用メカニカル継手



電波暗室

四半期連結貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

資産の部	
流動資産	42,171
現金及び預金	7,705
受取手形及び売掛金	17,550
有価証券	4,500
商品及び製品	5,210
仕掛品	2,930
原材料及び貯蔵品	1,545
繰延税金資産	1,024
その他	1,719
貸倒引当金	△14
固定資産	42,722
有形固定資産	23,874
建物及び構築物	8,546
機械装置及び運搬具	9,470
土地	2,717
建設仮勘定	2,620
その他	520
無形固定資産	985
投資その他の資産	17,862
投資有価証券	10,370
繰延税金資産	2,074
前払年金費用	4,520
保険積立金	410
その他	539
貸倒引当金	△52
資産合計	84,894

(単位：百万円)

負債の部	
流動負債	21,214
支払手形及び買掛金	11,260
短期借入金	3,354
未払法人税等	506
賞与引当金	1,788
その他	4,304
固定負債	6,364
長期借入金	5,000
退職給付引当金	886
役員退職慰労引当金	329
環境対策引当金	123
その他	24
負債合計	27,579
純資産の部	
株主資本	55,079
資本金	8,573
資本剰余金	6,604
利益剰余金	43,622
自己株式	△3,722
その他の包括利益累計額	△1,205
その他有価証券評価差額金	97
為替換算調整勘定	△1,302
新株予約権	21
少数株主持分	3,419
純資産合計	57,315
負債純資産合計	84,894

四半期連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	
売上高		35,705
売上原価		27,780
売上総利益		7,925
販売費及び一般管理費		5,070
営業利益		2,854
営業外収益		
受取利息及び配当金	32	
持分法による投資利益	674	
生命保険配当金	0	
受取ロイヤリティー	202	
為替差益	167	
その他	54	1,130
営業外費用		
支払利息	58	
支払補償費	93	
その他	148	300
経常利益		3,684
特別利益		
固定資産売却益	1	
新株予約権戻入益	13	15
特別損失		
固定資産除却損	13	
減損損失	3	
その他	0	17
税金等調整前四半期純利益		3,682
法人税等		
法人税、住民税及び事業税	732	
法人税等調整額	192	925
少数株主損益調整前四半期純利益		2,757
少数株主利益		251
四半期純利益		2,506

四半期連結包括利益計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
少数株主損益調整前四半期純利益	2,757
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	32
為替換算調整勘定	1,526
持分法適用会社に対する持分相当額	782
その他の包括利益合計	2,342
四半期包括利益	5,099
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	4,595
少数株主に係る四半期包括利益	503

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,354
財務活動によるキャッシュ・フロー	△928
現金及び現金同等物に係る換算差額	605
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,900
現金及び現金同等物の期首残高	11,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,754

会社の概要

創 業 昭和2年
設 立 昭和24年12月
資 本 金 85億7千3百万円 (平成25年9月30日現在)
従 業 員 数 1,573名 (平成25年9月30日現在)

〔主要な事業内容〕

下記製品の製造および販売

当社グループは、ピストンリング、カムシャフトを始めとした自動車・産業機械部品と鋼管用継手、電熱線等のその他産業向け製品の製造・販売を主要な事業（下記参照）としており、国内および海外にてグローバルに展開しております。

- ・自動車・産業機械部品事業部門
ピストンリング、カムシャフト、バルブリフター、バルブシート、シールリング、素形材部品等
- ・その他
鋼管用継手、ステンレス管用継手、電熱線、工業炉、電波暗室、電波吸収体等

リケンの環境活動

◎環境への取り組み

リケングループは、『私たちは地球環境を守り、社会に貢献する一級企業市民であり続けます』を経営理念のトップに掲げ、環境保全を企業活動の最優先課題として捉えております。私たちは、その実現のため、環境方針や長期的なビジョンを策定し、それを実現するための活動を進めています。

◎環境への基本姿勢

リケングループ環境方針

〈基本方針〉

私たちは、地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識し、リケングループをあげて、環境に配慮した企業活動に取り組む。

〈行動指針〉

■法律の遵守

環境関連の法律とその精神を遵守し、オープンでフェアな取り組みにより、リケングループの企業活動が環境に与える影響を把握し、環境負荷の継続的改善を図る。

■地球環境の保全

製品の開発・設計・生産・廃棄物発生にいたるすべての段階において、環境に及ぼす影響を予測し評価して、地球規模の環境保全を実施する。同時に、省資源、省エネルギーおよび廃棄物の削減を推進する。

■省エネや廃棄物削減の推進

リケングループでの設備の開発・設計・稼働にあたっては、環境との調和を常に把握し、汚染の予防、エネルギーや資源の有効活用および廃棄物の削減に配慮した処置を行う。

■環境に優しい製品の開発

省資源、省エネルギー、排気ガス低減および廃棄物削減に配慮した製品の開発に努め、地球環境の改善に貢献する。

■継続的な環境保全

環境目的・目標を設定し、その実現を図り、年に一度見直すことにより、汚染の拡大を防止し、環境保全の継続的な改善を図る。

■地域社会への貢献

良き企業市民として、地域社会への貢献という視点から、環境保護への支援・協力活動に積極的に取り組む。



役員 (平成25年9月30日現在)

代表取締役社長	岡高伊野教忠	岡高伊野教忠
専務取締役	伊藤山木健一	伊藤山木健一
常務取締役	村高元仁一	村高元仁一
取締役	高木藤山	高木藤山
取締役	国元木茂	国元木茂
取締役	早川元一	早川元一
取締役	前川木茂	前川木茂
取締役	鈴木ドナルドE.	鈴木ドナルドE.
取締役	鈴関マクナルティ	鈴関マクナルティ
取締役	佐藤昌	佐藤昌
取締役	大井多	大井多
取締役	中道基	中道基
取締役	溝上俊	溝上俊
取締役	若林修	若林修
取締役	則信	則信
取締役	嘉晃	嘉晃
取締役	宏裕	宏裕
取締役	志樹	志樹
取締役	章昇	章昇
取締役	雄二	雄二

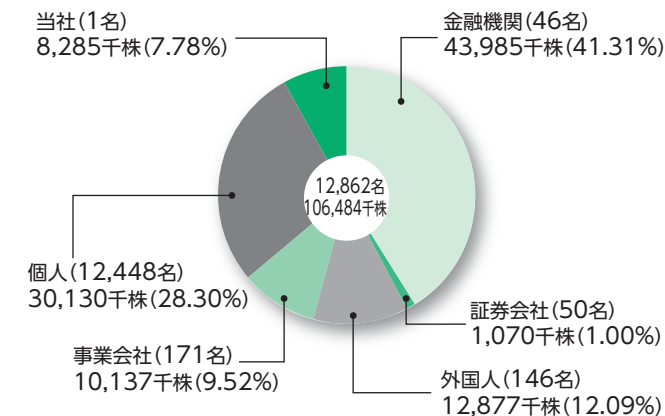
(注) 大道基樹は、社外取締役であります。
常勤監査役井上和章、監査役岩村修二は、会社法第335条第3項に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

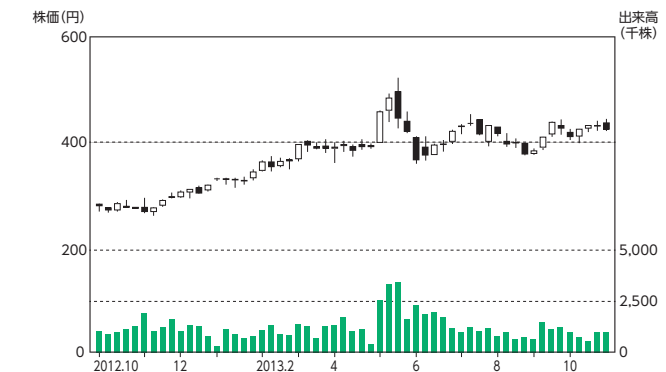
発行可能株式総数 200,000,000株
発行済株式総数 106,484,667株 (自己株式8,285,053株を含む)
株 主 数 12,862名 (前期末比257名減)
大 株 主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	8,402	7.89
株式会社みずほ銀行	4,863	4.57
日本生命保険相互会社	4,123	3.87
日立金属アドメット株式会社	3,564	3.35
株式会社第四銀行	3,202	3.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,045	2.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	2,745	2.58
三井住友信託銀行株式会社	2,617	2.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,553	2.40
株式会社損害保険ジャパン	1,900	1.78

所有者別株式の分布状況



株価チャート



株式についてのご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
(なお、中間配当を行う場合は9月30日)
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店
および全国の各支店で行っております。
公告の方法 当社の公告は電子公告 (当社ホームページ)
により行います。
<http://www.riken.co.jp>
ただし、電子公告によることができないときは日本経済新聞に掲載して行います。

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



<http://www.riken.co.jp>

本 社	〒102-8202 東京都千代田区九段北1-13-5 (ヒューリック九段ビル) TEL (03) 3230-3911	大阪 営業 部	〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-1-1 (大阪興銀ビル) TEL (06) 4706-6720
札幌 営業 所	〒003-0012 札幌市白石区中央2条6-4-10 TEL (011) 865-1919	広島 営業 部	〒732-0052 広島市東区光町1-12-20 (もみじ広島光町ビル) TEL (082) 506-2455
仙台 営業 所	〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-1-5 (SAKAE泉中央ビル) TEL (022) 773-8825	福岡 営業 所	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-4 (JPR博多ビル) TEL (092) 474-2175
神奈川営業部	〒243-0018 厚木市中町3-3-9 (厚木アーバンプラザ) TEL (046) 225-7111	柏崎 事業 所	〒945-8555 新潟県柏崎市北斗町1-37 TEL (0257) 23-3113
浜 松 営 業 部	〒430-0933 浜松市中区鍛冶町319-28 (日本生命浜松センタービル) TEL (053) 457-1155	熊 谷 事 業 所	〒360-8522 埼玉県熊谷市末広4-14-1 TEL (048) 521-3511
名古屋営業部	〒460-0003 名古屋市中区錦1-13-26 (名古屋伏見スクエアビル) TEL (052) 201-8681		

財務諸表掲載の

ホームページアドレス

http://www.riken.co.jp/ir/d_kessan.html

